

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月19日更新

事務事業名		合志市体育協会活動支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	辻 健一
	施策	22 生涯スポーツの推進				所属課	生涯学習課	担当者名	毛利 一生
	基本事業	72 スポーツ団体の育成				所属班	スポーツ振興班	(内線)	1519
予算科目		会計一般	款10	項6	目1	事業連番10822	法令根拠	スポーツ基本法 合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱	成果優先度評価結果 : ⑧ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		☐ 26年度で終了 ☐ 26年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	合志市体育協会補助金の交付 (合志市体育協会では、菊池郡市民体育祭への派遣及び熊本県民体育祭への派遣、各種目協会・スポーツ少年団育成のための事業をおこなっている) 菊池郡市体育協会負担金の納入
【業務の流れ】	合志市体育協会補助金交付事務 (事業計画承認申請書の処理、内示の処理、補助金交付申請書の処理、補助金交付決定通知の発行、概算払申請書の処理、実績報告書の処理、補助金確定通知の発行)
【主な予算費目】	補助金・負担金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
合志市体育協会への補助金交付事務・菊池郡市体育協会へ負担金の納入		合志市体育協会へ補助金交付事務・菊池郡市体育協会へ負担金の納入
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 合志市体育協会会員数	人	
→ イ 合志市体育協会加盟団体数	団体	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市体育協会会員	人	→ ア 合志市体育協会会員数
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
合志市体育協会会員に運動する機会を与える。	%	→ ア 会員が所属する団体が定期的に活動している割合
		→ イ
* ③ 成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
団体が定期的に活動することで、会員が大会等に参加し、運動する機会を得ていることになると考えられる。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込
① 活動指標	ア 人		2,632	2,670	2,700	2,760	2,800	2,850	2,900	2,900
	イ 団体		20	20	21	21	21	21	21	21
② 対象指標	ア 人		2,632	2,670	2,600	2,760	2,800	2,850	2,900	2,900
	イ									
③ 成果指標	ア %		100	100	100	100	100	100	100	100
	イ									
投 入 費 用 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円		192		250			
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	5,077	6,405	5,467	5,412	4,863	6,161	6,161
		(A) 事業費計	千円	5,077	6,405	5,659	5,412	5,113	6,161	6,161
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(B) 人件費計	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	5	3	0	3	3	3
		延べ業務時間	時間	166	426	130	0	150	150	150
トータルコスト(A)+(B)			千円	5,077	8,102	6,176	5,412	5,710	6,758	6,758

事務事業名	合志市体育協会活動支援事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	---------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度的事後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した 各種目協会が効率的な運営を行っている。	☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 各種目協会が効率的な運営を行うよう指導していく必要がある。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 年間行事は郡市・県民体育祭が主な行事で未経験の市民が参加できる大会が少ないため、市主催のスポーツフェスティバルに参加を促し、市民が参加できる大会を行っている。さらには、各種目協会が定期的に大会を開催していけば市民が参加できる機会が増え、成果は向上する。	☐ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 将来的に総合型地域スポーツクラブとの連携、学校部活動との連携が期待される。また市役所で事務局を持つのではなく、独立した体育協会として活動していく時期にきている。	☐ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 各種目協会が負担金を納入し、協会運営の一部としているが、市よりの補助金が運営費のほとんどであり削減余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 補助金の交付が主であり、削減余地はない。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 種目協会や体育協会の育成は市の役割であり、協会運営のための費用負担は適正である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 体育協会の事務局を行政が担っているが、行政から離れて、独立した団体への移管を考える時期に来ている。	☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

各種目協会の運営に補助を行うことで、スポーツの振興ができています。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☒事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"> </td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								